

支援だより

第3号



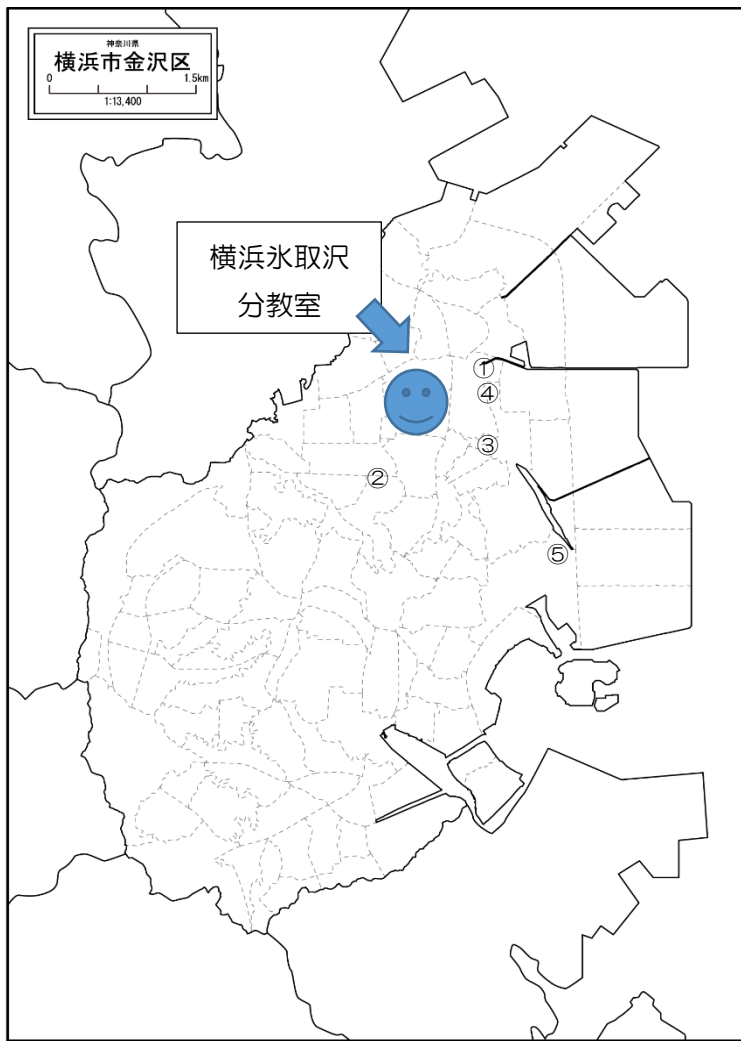
県立金沢支援学校 連携支援グループ 地域支援チーム 令和6年12月



今回の支援だよりは、分教室と地域の関わりについて、並木第一小学校での事前授業について、PTのつぶやきの3本立てです。

分教室と地域の関わりについて

今年度、分教室は金沢区を中心に様々な事業所と関わって活動をしています。



(画像引用元：白地図専門店)

- ①株式会社タカハシ富岡西店
- ②株式会社京急ストア能見台店
- ③能見台駅前郵便局

秋季実習でお世話になりました。実際に経験をしてみて、「売り場の広さ、豊富な商品量に驚いた。」「切手には色々な種類があることを知った。」等の感想や気づきが挙がりました。先方からは、「作ってもらったしおりが好評で、お客様にとっても人気がある。」等うれしいお話を頂きました。

- ④富岡地域ケアプラザ

職業の時間に、環境整備班が清掃や食器拭き、事務作業等の仕事をしています。地域の方と実際に関わることもあり、貴重な経験をさせて頂いています。

- ⑤株式会社タナカ

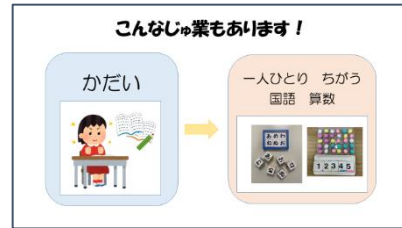
菓子箱の箱折り作業の受注を頂いています。例年お世話になっているので、3年生は自信を持って取り組む様子が見られました。

どの事業所も温かく迎えてくださり、生徒たちは緊張感を持ちながらも落ち着いて活動することができました。今後も色々な場面で関わりながら、地域社会とのつながりを深めたいと思います。

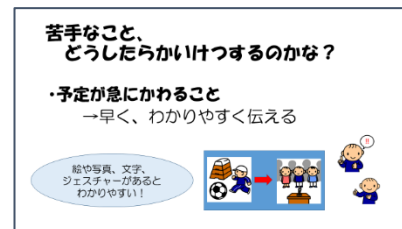
並木第一小学校での事前授業について



例年小学部 B 部門4年生と小学部 A 部門は、並木第一小学校との学校間交流を行っています。先日、12月に本校で行う交流授業に向けて、本校職員が並木第一小学校4年生の子どもたちに「支援学校のことを知ろう」というテーマで事前授業を行いました。



前半は「並木第一小学校と金沢支援学校では、どんなところが同じで、どんなところが違うのかな?」と、通学方法から授業の内容、給食の食形態等…様々な視点から、写真やイラストを交えて比べてみました。子どもたちは、「トランボリンの授業面白そう!」「トーンチャイムはやったことあるよ!リコーダーはやらないの?」等、いつもは外側からしか見ない支援学校の中の活動に興味を持ってきている様子でした。



後半は「支援学校の友達のことを知ろう」ということで、本校の子ども達の好きなことや苦手なことを紹介しました。その中で身振りサインやイラストを使ったり早めにわかりやすく予定を伝えたりすることで、苦手も解決できることをお話しました。「サインって手話みたい!」「私も音楽好き♪」「突然プール無いって言われたらオレも嫌だー。」と話してくれ、自分たちと同じところがたくさんあることや工夫をすることで気持ちよくコミュニケーションが取れることに気づいてくれたようです。交流を楽しみにしているという声も多く聞こえたので、12月に子どもたち同士で行う交流も、お互いに楽しく充実した時間になると良いなと思います。(画像はスライド資料を一部抜粋したものです。)

PT のつづやき



【eBOCCIA について】

9月から1カ月強の間、(株)ユニコーンさんより eBOCCIA をレンタルし、主に A 部門の児童生徒で体験をしました。eBOCCIA とは、視線入力やスイッチを使用してポッチャランプを上下左右に操作することができ、障害の有無に関わらずポッチャに参加できる装置です。オンラインで操作して、自宅等からも遠隔操作することもできます。こうした支援機器等を通じて、子どもたちの能力を引き出し、発達や成長に繋げていけたらと考えています。



eBOCCIA Lite